

マリー・アントワネット (1956)

MARIE-ANTOINETTE
MARIE-ANTOINETTE REINE DE FRANCE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 121分

初公開日 1956/10/17

公開情報 映配

【解説】

スウェーデンの青年伯爵と愛し合いながらも、権謀のためにルイ16世と結婚し、ギロチンで処刑された王妃マリー・アントワネットの半生を描く。

【クレジット】

監督	ジャン・ドラノワ	Jean Delannoy	
脚本	ジャン・ドラノワ	Jean Delannoy	
	ベルナル・ジンメル	Bernard Zimmer	
	フィリップ・エルランジェ	Philippe Erlanger	
撮影	ピエール・モンタゼル	Pierre Montazel	
編集	アンリ・タヴェルナ	Henri Taverna	
出演	ミシェル・モルガン	Michele Morgan	マリー・アントワネット
	リチャード・トッド	Richard Todd	フェルセン伯爵
	ジャック・モレル	Jacques Morel	ルイ16世
	シュジー・キャリエ	Suzy Carrier	エリザベス
	エイメ・クラリオン	Aime Clariond	ルイ15世
	ジャンヌ・マルカン	Jane Marken	ヴィクトワール
	ジャンヌ・ボワテル	Jeanne Boitel	
	ギイ・トレジャン	Guy Trejan	
	ジョルジェット・アニス	Georgette Anys	
	マルセル・アルノルド	Marcelle Arnold	
	ジャック・ベルジュラック	Jacques Bergerac	
	マリナ・ベルティ	Marina Berti	
	ポール・ボニファ	Paul Bonifas	